

# 令和3年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural  
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子  
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

	内容	評価	現状・課題
保育目標について	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	・法人理念を念頭に置き保育をするようになったと感じる。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切にされた保育をしている	C	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	C	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	・保育環境については環境構成委員の働きかけで、保育環境の重要性を理解し、変化のある1年になった。継続することも大切だと思うが、毎年少しずつでもステップアップしていきたい。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	B	
	(3)素材・用具を適切に使用している	B	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	C	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	B	・1年を通して以上児、未満児ともにクッキングを楽しむことができていた。 ・栄養士や調理員との関りを増やしていきたい。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	A	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	
役割分担について	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	B	・それぞれが責任をもって仕事をしている。しかし、役割については責任の重さが違うので、そこで差が出てしまうように感じる。その差をうまくカバーし合える関係が作れると、さらに職員間の繋がりが深まると思う。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	B	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	

		評価	現状・課題
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものことで保護者に思いを伝えようとしても思うように伝わらなかったり、受け取り方の違いで疑問を持たれたり、今年も伝え方の難しさを感じた。伝え方、言葉選びなどよく考えていきたい。</li> <li>・保護者同士の交流の場や、保育者へ気軽に相談できる場や機械を設ける必要がある。</li> <li>・コロナ禍の中での情報発信の方法を考え、今以上の「見える化」に努める。</li> </ul>
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	
	(4)園日より、ドキュメンテーション、きつずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	B	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対するの守秘義務を周知徹底している	A	

開かれた 保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と連携はコロナで中止となる事が多かった。書面や電話対応での情報交換のみ。</li> </ul>
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	C	

子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も見学対応のみとなった。</li> <li>・相談しづらいと感じている保護者もいるので改善方法を考えていきたい。</li> </ul>
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	C	

## 総合的な現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は職員の求職や退職、コロナでの休園など今までにない状況が続き大変な時期もあったが、その都度職員間でも話し合い、協力し合いながら1年を終えることができた。</li> <li>・法人理念を職員それぞれが意識し保育できるようになったと思う。しかし、まだまだ個人差はあるので同じレベルで物事を考えるようになってほしいと思う。</li> <li>・子どもに寄り添うという部分では、進級した時のために、次の先生たちのためにという気持ちが強く感じることもあるので、子ども達それぞれのペースに合わせて保育をしてほしいということを伝えていきたい。</li> <li>・コロナ禍での行事の進め方や情報発信については、保護者アンケートの意見を参考にしながら改善していきたい。</li> </ul>
--

園名 風光るゆめの森

氏名 池尻 和美